



2018年11月7日

各 位

会社名 株式会社MS&Consulting
 代表者名 代表取締役社長 並木 昭憲
 (コード番号：6555 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 経営管理本部長 日野 輝久
 (E-mail ir@msandc.co.jp)

2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2018年5月10日に公表いたしました2019年3月期第2四半期累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）の連結業績予想数値と、本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績数値との差異 (2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,284	86	85	54	54	11.66
実績数値 (B)	1,261	111	111	82	85	18.30
増減額 (B) - (A)	△23	25	25	28	31	
増減率 (%)	△1.8	29.7	29.9	51.7	56.9	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	1,216	70	69	40	43	9.59

2. 差異の理由

売上収益につきましては、顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ（以下、MSRという。）」の国内における調査数が前年同期比で2.0%増と堅調に推移したものの、一部の顧客企業で地震や豪雨によるMSRの中止・後倒しが発生等したため、当初の予想を若干下回る見込みとなりました。

営業利益以降の各段階利益につきましては、粗利率の高い従業員満足度調査「サービスチーム力診断（働きがい診断）」の売上収益が拡大したことに加え、各種費用の見直しによるコストダウン、市場変更に伴う上場一時費用が当第3四半期連結会計期間以降に繰り延べとなったこと等により、当初の予想を上回る見込みとなりました。

3. 通期連結業績予想について

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の営業利益が当初の予想を上回ったものの比較的金額が大きくないこと、市場変更に伴う上場一時費用の計上が繰り延べになっていること等を考慮し、2018年5月10日に発表いたしました連結業績予想を据え置いております。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上